

労使研

「情報」第69号 2026年1月

労使関係研究協会

〒105-0014

東京都港区芝2-20-12

友愛会館9階

一般財団法人日本労働会館内

TEL. 03-3453-5386

FAX. 03-3451-1710

<http://roshiken.net/>

roshiken@rodokaikan.org

賀 正

本年もよろしくお願い申し上げます



ミコアイサ

PHOTO Kikuchi Masanori

2026年 新年のご挨拶

一般財団法人日本労働会館
代表理事 宮本礼一



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中、皆様方におかれましては、日本労働会館の運営および友愛労働歴史館事業・労使関係協会事業に加えて、ホテルローズステイ東京芝公園の運営など対し、格別のご厚情とご高配を賜り、公益財団としての一定の役割を果たすことができましたことに心より感謝申し上げます。

さて、去年は米国でのトランプ関税の発動により、国際貿易に大きく影響を与え、世界経済が混乱したこともあり、特にわが国においては主な輸出産業ある自動車・同部品をはじめとする幅広い産業・業種に影響が及んだだけでなく、輸入についても不確実性が高まるなどして、食料品などの生活物資や原材料価格などの値上げが相次ぎました。7月の参議院議員選挙では、自公連立与党が過半数割れとなり、自民と維新の連立による高市政権が誕生しましたが、未だ政治とカネの問題が解消されていないことも、国民の政治に対する不信感が漂っています。

国の政策制度においては、高齢者雇用安定法や育児介護休業法が改正されるなど、労働環境の改善がみられる一方で、高市政権は労総時間規制の緩和を進めようとしており、働き手の過剰労働を深刻化させる懸念が広がっています。

また、去年は以前より進められてきた公益法人制度改革も終盤を迎え、当財団を始めとする公益法人に対して、透明性と信頼性が高い法人運営と、より効果的な公益活動をおこなうことが求められています。

このような環境下において、当財団は「友愛労働歴史館事業」と「労使関係研究協会事業」の二つの公益事業と、当財団の財政基盤を支える収益事業の「ローズステイ東京芝公園」を運営してきました。その結果、当財団が12年前より内閣府に届けていた公益目的支出計画が終了し、現在は内閣府による「公益目的支出計画の実施完了確認請求」の手続きを待っている段階にあり、この手続きが終了すると、当財団の公益事業運営の自由度が増すことになり、社会の変化に柔軟・迅速に対応する法人運営と事業活動をおこなうことが可能になります。

本年は丙午の年でもあることから、太陽のような明るさや情熱、決断力を象徴し、物事を大きく広げ、当財団が力強く飛躍・前進することで、民主的な労働運動を基調とする労働組合運動の発展に資する取り組みを進めて参りますので、今後とも皆様方のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

友愛労働歴史館の活動

◆常設展

「日本労働運動の100年余－友愛会・総同盟（戦前）を中心とする」は2012年8月1日のオープン以来、原則同一内容で開催しています。昨年度から出張講演にかかる講師の交通費を日本労働会館持ちとし、積極的に依頼を受けています。今年度（2025年4月以降11月末まで）の来館者数は2235人、うち出張講演受講者は1898人となっています。

◆労働資料協総会・研修会への参加

11月25日・26日の2日間、社会・労働関係資料センター連絡協議会（労働資料協）の第40回総会と研修会が開催され、友愛労働歴史館から安部館員が出席しました。

1日目の総会は12機関と個人会員合わせて32人が出席して町田市の大原社会問題研究所で開催、24年度の活動経過報告、決算、予算を了承。鈴木玲代表幹事（大原社会問題研究所所長）が退任し、藤原千沙氏（同）が新たに選出されました。総会後に同敷地内の日本統計研究所と大原社研の書庫を見学しました。

2日目は大原社研所蔵のILO資料、平塚らいてう資料などを見学、その後移動して中央大学資料館で見学と意見交換を行いました。次年度の総会は京都（同志社大学等）での開催が予定されています。

◆春日一幸関連資料重複分の移管

先般寄贈を受けた春日一幸（民社党）関連資料のうち重複分について調査研究員の梅澤氏を通じ国会図書館への移管を打診しました。11月28日に国会図書館より担当者2人が来館して資料の選別を行い、後日選定分を発送しました。

◆民社協会関連資料の受け入れ

民社協会の事務所閉鎖にともない、11月7日、関連資料（8箱）を受け入れました。

◆メーデー出展予定

4月29日開催の第97回メーデー中央大会に友愛労働歴史館として参加します。書籍頒布・資料配付のほか、昨年も好評であったローズステイ東京芝公園の菓子類販売も予定しています。



歴史館を出前いたします

全国出張講演の実施について

友愛労働歴史館は、友愛会創立100周年の2012年8月1日に新装オープンした友愛会系労働運動、社会運動に関する歴史資料館です。

友愛労働歴史館は、①友愛会以来の日本労働運動、②友愛会ゆかりの政治活動、③ユニテリアンゆかりの社会運動、に関する史料館をめざしています。

常設展示「日本労働運動の100年余」の歴史を広く知らしめることを目的に、会員組織を中心に「出張講演」を行っています。

所要時間や講演内容例は以下のとおりです。

【定番コース】

- ①60分コース＜基礎簡潔編・一般向き、職場役員及び執行委員向き＞

ようこそ友愛労働歴史館へ（日本労働運動発祥の地）

第一部 労働運動前史 福澤諭吉とユニテリアン

第二部 戦前の労働運動 1897年（明治30年）～1940年（昭和15年）

第三部 戦後の労働運動 1946年（昭和21年）～

第四部 友愛会、鈴木文治・松岡駒吉のメッセージ

- ②90分コース＜基礎編・執行委員及び職場役員向き＞

常設展示スライド使用「日本労働運動の100年余」

①の詳細版

- ③90分コース＜詳細編・執行委員向き＞

日本労働運動の100年余から民主的労働運動を探る

②の詳細版



【オプションコース】

A生産性運動三原則 20～30分

Bリーダーシップ論の基礎 20～30分

C労使関係論（コーポレートガバナンス）

D労働組合にとってなぜ政治が必要なのか 60分以上

労使研会員組織の講師料は無料、旅費交通費は財団で負担します。

日程・講演内容等について早めにご相談ください。

Tel. 03-3453-5386

東京観光・出張・研修・受験の宿泊は
ローズステイ東京芝公園をご利用ください
(旧三田会館)



ローズステイ東京芝公園
公式WEBページ